

2025年(令和7年)
12月1日
No.1675
毎週月曜日発行(第5週は除く)
発行人:加賀光次郎
年間購読料 22,000円(税込)

リフォーム産業新聞

The Japan Journal of Remodeling

発行所: (株)リフォーム産業新聞社
亀岡大田取材班グループ
本社: 104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
全国燃料会館ビル7F
TEL:03(6260)4824 FAX:03(6260)6945
暮らしをよくする、専門メディア

CONTENTS

- 7 設計トレンド
ダークモダンなキッチン×リビングの家
青木住巧
- 9 ショールームトレンド
VRでリフォーム後の空間を体験
グランディリフォーム
- 10 デザインリノベ
北海道産の無垢材でつくる家
スロウル
- 11 空き家流通
空き家の買取再販で年間40棟
Sweets Investment
- 12 経営強化
交換できるくんの子会社へ
キッチンワークス
- 13 買取再販
参入して半年で22戸販売
東京PM不動産
- 15 新体制
サーラ社の傘下で成長を加速
安江工務店
- 17 売買仲介
投資用ワンルーム仲介に特化
TOCHU



▲右から、管理本部総務部長の齋藤隆夫氏、人事本部広報PR担当課長代理の都築達也氏、管理本部総務部長代理の澤田友美氏、人事本部主任広報PR担当兼役員秘書の香川なつみ氏

健康経営

手づくりランチや運動を推奨

キタセツ

健康診断の再検査費用を負担

キタセツの取り組み



▲毎日北川社長が野菜多めの昼食を作り、社員に提供



総務部長
健康経営担当
渡部雅美氏

北川拓社長

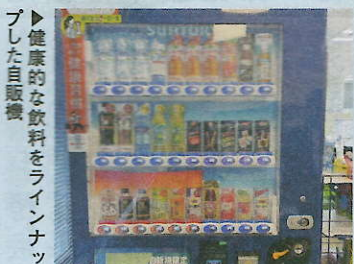


2025年10月 月間ランキング

キタセツ 1位 3,151,607歩/月

順位	名前	歩数
1位	齋藤さん	3,151,607
2位	渡部	3,151,607
3位	大田	3,151,607
4位	安江	3,151,607
5位	香川	3,151,607
6位	齋藤	3,151,607
7位	渡部	3,151,607
8位	大田	3,151,607
9位	安江	3,151,607
10位	香川	3,151,607

ホームネットの取り組み



▲フットサル大会の様子



▲野菜摂取量を測る「ベジチェック」をしている様子



▲社内には、運動習慣を促すポスターを多数掲示

「健康経営」に力を入れる企業が増えてきている。「健康経営」とは、社員の健康を経営の基盤と考え、社員の心と体の健康を守ることで企業の成長を目指す取り組みだ。経済産業省が推進しており、全国の企業で広がりをみせている。国の認定制度「健康経営優良法人」を取得するリフォーム会社や不動産会社も増えている。

柱に活動を進めている。同社の健康経営の大きな特徴が「キタセツランチ」だ。毎日社長が中心となり、社員に提供している。北川拓社長は「以前は社員がコンビニ弁当などで野菜不足になりがちでした。昼食だけでも野菜をしっかりと取ってほしい」と話している。9年間以上続けてき

て、今では毎日20人以上が利用し、一緒に食卓を囲むことで交流の場にもなっている。また、健康診断の再検査の費用も負担している。北川社長は「費用を出すことで受けてもらいやすくなりました」と語り、受診漏れの防止につなげている。今年からは産業医とも契約し、健康やメンタル面の相談がオ

ンラインで簡単にできる窓口を整えた。「家族や介護や体調の悩みなども気軽に打ち明けられる場を目指しています。上司や会社には言いにくい相談も外部の人には相談できるでしょう」と北川社長。運動習慣づくりとして、大田区が提供する歩数管理アプリ「はねびょん健康ポイント」にチームとして参加している。

同アプリは、日々の歩数を計測し、参加チームの合計歩数に応じて順位が表示される仕組みだ。ランキング結果を社内で行うことで、社員の歩行意識の向上にもつなげている。総務部長で健康経営担当の渡部雅美氏は「現在、約130チームが参加しており、弊社が1位です」と話す。

また、大田区のマラソンリレーに参加している。今年は2チーム12人が参加。「順位より自分をペースで楽しく走ることが大事だと思います」と北川社長は話す。女性の健康支援として、経済産業省が推進する「女性の健康施策の効果検証プロジェクト」に参加し、同省が提供する研修動画を月2本のペースで社内配信。あわせて、社内チャットには女性社員だけが利用できる相談ルームを設け、日常の困りごとや健康面の悩

みを気軽に共有できる環境を作った。同社が健康経営を始めた理由を「健康だからこそいい仕事ができる。健康に関して、本人任せではなく、会社としても真剣に取り組みたいからです。リフォームはサービス業なので、人が大事です。今後も健康経営に力を入れて、体とメンタルの両方を良くし、不調での離職を無くしていきたいです」(北川社長)

ホームネットがん検診費用を会社が支援

フットサル大会に出場

買取再販事業を全国で展開するホームネット(東京都渋谷区)は、今年初めて健康経営優良法人に選ばれた会社だ。同社は、社員に健康経営を始めたことを伝えるため、健康情報をまとめた冊子を作成し、全国の拠点に配布。そこからは徐々に取り組みが広がり、4人のチームが中心となって健康経営を本格化させた。管理本部総務部長の齋藤隆夫氏は「本業の合間に集まって、すぐできることを話し合ってきた」と話す。具体的取り組みの1つは、女性特有のがん検診は会社が全額負担。管理本部総務部長代理の澤田友美氏は「補助を始めてから受診率が上がりました。社員の健康を守る一歩になったと思います」と語る。2つ目は、年2回行う同アプリは、日々の歩数を計測し、参加チームの合計歩数に応じて順位が表示される仕組みだ。ランキング結果を社内で行うことで、社員の歩行意識の向上にもつなげている。総務部長で健康経営担当の渡部雅美氏は「現在、約130チームが参加しており、弊社が1位です」と話す。また、大田区のマラソンリレーに参加している。今年は2チーム12人が参加。「順位より自分をペースで楽しく走ることが大事だと思います」と北川社長は話す。女性の健康支援として、経済産業省が推進する「女性の健康施策の効果検証プロジェクト」に参加し、同省が提供する研修動画を月2本のペースで社内配信。あわせて、社内チャットには女性社員だけが利用できる相談ルームを設け、日常の困りごとや健康面の悩

るのも楽しく、体を動かすのもいいので、もっと広めていきたいです」(人事本部主任広報PR担当 兼 役員秘書の香川なつみ氏)

他にも、ウォーキングキャンペーンや午後3時にラジオ体操を実施。人事本部広報PR担当課長代理の都築達也氏は「社員が楽しめることを第一に考えながら、さまざまな企画を進めています。私たち自身も楽しみな取り組みを大切にしたいです。また、社員の健康を支えることが、結果として会社の成長につながると考えて、健康経営を企業価値の1つとして位置づけています」と語る。今後について齋藤氏は「健康経営が社員に健康意識をもたらせるきっかけになればと思います。またターゲットラインに立ったばかりですが、今後はより実のある取り組みをしていきたい」と話す。